

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会は検閲班（内線2171、2174）。
3. その他本電の取扱い等に関する照会は調整班（内線3169）に連絡ありたい。

電信写

08-026

大 政事外外儀官
大 秘務 典房
次次
臣 秘官官審審長長

08 経 外 査 総 博
大 大 ア 察 情 代
使 使 大 研 答 審 議

総 対 文 図 厚 情 オ
案 人 電 在 儀 歴 史

の 報 官
参 報 際 内 外

文 長
審 一

長
参 政 保 対 旅 外

長
⑧ 地 中 東
⑨ 東 西

北 米 長
密 一 二 保 地

中 南 長
参 一

欧
審 西 ソ 洋
西 東
二

参 一 ア ア
一 二

次 総 経 途 博
審 経 領 国
一 二 国
一 二 安 二

長
審 海 審 準

審 國 開 航
参 調 國 有 理

長
審 条 協 規

国
審 政 経 人
参 軍 社

科 審
科 原

参 審 調 長
企 安

総 番 号 R139194

月 10 日

平成 3 年 7 月 10 日

韓 国 発
本 省 着主 管
亜 北

外 務 大 臣 殿

柳 大 使

在韓ひ爆者支援

秘密指定解除
公文書監理室

第2678号 秘 至急（ゆう先処理）

（以下FAX送信 SO6455-05）

秘密指定解除

公文書監理室

秘

(三六〇号)

貴電第1038号に關し、

6日、外務部において在韓被爆者支援に關する協議を行つたところ、概要は以下の通り。

(先方、保健部資金振換佐、外務部東北ア課韓光燮事務官、金昌範事務官、当方、経済企画院川上補佐、丁北蕃臣、当館明島出席)

1. 冒頭、当方より以下の点につき説明及び質問。

(1) 平成3年度本件支援(17億円)の拠出手続。

本件拠出先を韓赤とし、韓国側の拠出要請に依する形での口上書及び書簡の交換要領、及びその際の考え方につき具体的に説明。

(2) 韓国政府が昨年度計画・実施している在韓被爆者実態調査の結果。

(3) 韓国政府による在韓被爆者対策に係る全体計画、実施体制、財政措置の具体的な内容。

秘密指定解除

公文書監理室

密

(三八〇号)

2. 二水に対し、先方より以下の通り述べた。

(1) 17億円の拠出中絶。

韓国側としても、一日も早く拠出して頂きたいと考えられているところであり、右手続については余り困難なく回答できるものと思う。いざ水にせよ、早期に常識的結論を出せるよう政府部内で検討の上、早急べく早く結果をお知らせしたい。

(2) 実態調査。

右調査は90年2月に開始され、今月末まで行われることになり、現在、夏の調査中。従って、最終結果は遅くとも知らずや可き。91年6月末日現在の中間結果を今回提示（別下A×信にて送付）。このことよ水が、在韓被爆者の数^{増加}の依然増加していることが確認できる。

(3) 韓国政府の在韓被爆者対策

(ア) 在韓被爆者問題諮問委員会の設置

今月中に、本件問題のための諮問委

秘密指定解除

公文書監理室

密

(三八〇字)

国会と保健部が中心となって設立する
予定。右委員会において今後の本件問
題のための政策・方針と話し合うこと
にする。メンバーは10名前後で、保
健部、外務部、韓赤、被爆者協会、及
び学識経験者が構成することになる。
(当然より、従来の「五人委員会」との関
係について質したところ)

「五人委員会」は被爆者の認定機関で
あり、在野被爆者問題の全般方向と話
し合う諮問委員会と曰全く別の性格。

④ 健康福祉センター

本センター設置の為、とりあえず92
年度予算に約40億ウォンと要求する
予定。しかし、韓国政府が負担すること
に付いている建設用地は、昨今の^{世景}高騰
によって計画通りの取得が困難になり
つつあるので、自治体への協力を求め
る等の方策も併せて検討している。

秘密指定解除

公文書監理室

秘

(二八〇)

(4) 健康診断及び治療費支援については、計画通り実施して行くことにはなるが、本件支援の内容が広く知られるようにはなるに従い、被爆者登録者数も増加して来っており、支援額も増える傾向にある。

(5) いずれにせよ、韓国政府の本件支援に係る具体的計画・資料等は、今後英外交ルートを通じて、直達日本政府にお知らせしたい。尚、残りの23億円については早期に提出されることを希望している。

3. 最後に当方より以下の表について申し述べたい。

(1) 諮問委員会の設置は結構であるが、これまでに日韓両国政府間で積み上げて来た成果とかけ離れたようなことが決まると、日本政府の提出に支障が出ることもなるので、慎重な対応を希望する。

秘密指定解除

公文書監理室

密

(三八〇字)

(2) 本件支援は、あくまで韓国政府が行う
被爆者対策と日本政府が協力するもので
あり、韓国政府自身の努力と実績が今後の
我が方の予算要求の根拠にもなること
了。引続き計画やデータの伝達と希望

(3) 17億円の出手額は、韓国側の回答
が早ければ早い程、拠出も早くなるので、
検討結果の早期回答を期待。

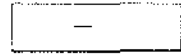
(3)

F A X 信

秘密指定解除

公文書監理室

秘



総 番 号 R139195

主 管

月 10日

韓 国 発 着

面 北

平成 3年 7月 10日

韓 本 省 着

外 務 大 臣 殿

柳 大 使

在韓ひ爆者支援

FAX信 秘 至急 (ゆう先処理)

(以下FAX送信 SO6456-02)

行電第2678号別FAX信

S006456

原爆被害者 実態調査 結果
 原爆被害者 実態調査 結果

(91.6月末 現在 中向 結果)

世代別 実態調査 結果 対象者数 1. 世代別 実態調査 結果 対象者数

単位:名
 (단위:명)

구분 区分 세대별世代別	申請者数 신고자수	合格者数 합격자수	不合格者数 불합격
계합	9,571	9,241	330
1 세대	2,272	1,982	290
2 세대	7,158	7,158	
사망자 死亡者	141	101	40

年齢分布別 対象者数 2. 年齢分布別 対象者数

구분 区分	세대 세대	40-50	51-55	56-60	61-65	66-70	71-75	76-80	81-
1세대 1世	1,982	238	336	284	270	369	217	135	133

居住地別 対象者数 3. 居住地別 対象者数

구분 区分	세대 세대	서울 서울	부산 부산	대구 대구	인천 인천	광주 광주	대전 대전	경기 경기	강원 강원	충북 충북	충남 충남	전북 전북	전남 전남	경북 경북	경남 경남	제주 제주
1세대 1世	1,982	201	274	208	30	4	16	150	4	35	37	25	35	88	869	6
%	100.0	10.1	13.8	10.5	1.5	0.2	0.8	7.6	0.2	1.8	1.9	1.3	1.8	4.4	43.8	0.3

S006456

2

支援金 後用 以銀別 使用計書
 * 지원금 (40억엔) 내역별 사용계획

單位 百円
 (단위: 백만원)

구분	구분	합계	사용 목적 내역								
			건강복지센터사업				건강진단		치료비	건강진단 운영비	
			소계	대지	건립비	기자재	소계	일반			특수
한국 政府	한국 정부	21,600	9,000	9,000	—	—	—	—	—	9,000	9,600
일본 政府	일본 정부	26,780	11,180	—	9,180	2,000	600	450	150	9,600	—

(3)